

第3回議会報告会報告書

1 開催日時・開催場所・参加者数

開催日時	開催場所	参加者数
平成26年4月24日(木) 午後7時～午後8時29分	市民総合センター 展示ホール	17人
平成26年4月25日(金) 午後7時～午後8時30分	グリーンホール田原 なるなるホール	12人

2 出席議員（報告会派順）

- ・暇市民クラブ
幹事長 長畑 浩則
島 弘一（副議長）
佐藤 誠
藤本 美佐子
- ・日本共産党市会議員団
幹事長 岸田 敦子
神原 泰晴
- ・市議会公明党
幹事長 瓜生 照代
山下 幸恵
曾田 平治
小原 達朗
- ・くすのき21市会議員団
幹事長 大川 泰生
副幹事長 吉田 裕彦
大矢 克巳
渡辺 裕
平野 美治（議長）
- ・会派に属さない議員
森本 勉

3 報告内容

平成25年12月及び平成26年3月議会の本会議質疑、一般質問、常任委員会、予算特別委員会及び代表質疑の質疑内容について、各会派等から報告しました。

4 質疑応答及び意見交換の概要

(1) 平成26年4月24日におけるもの

問 高齢化社会になっていく中、高齢者の人たちの生き甲斐づくりや子どもたちが自ら課題を見つけ解決していけるような環境づくり、また、安心して子育てが出来る環境をつくるには、市民との協働が必要と考えるが。

答（長畑議員） 市民の方々の意見を聞きながら一緒になって、また、行政とも一緒になり、子育て、高齢者のことに関してはしっかりやらせていただく。

答（岸田議員） 子どもたちが自主的に課題を見つけ取り組んでいくことは大事なことであり、そういう取り組みができればよいと考えている。市民の皆さまの力も借りながら市を盛り上げていき、また、議会でも取り上げていくよう努力する。

答（瓜生議員） 代表質疑等では持続可能なまち、協働のまちをキーワード取り上げてきた。持続可能ということは回復できる力であり、その力はコミュニティがしっかりしていることであり、市民の皆さまの力を借りて協働のまちづくりをおこなっていききたい。

答（大川議員） 市民との協働のまちづくりの中で、待機児童を解消しようと考えている。民間の保育園や公立保育園の弾力運用を進めてきたが待機児童が増えていくのが現状である。このような問題も含めて市民の皆さまの意見を聞きながら、取り組んでいきたいと考えている。

（2）平成26年4月25日におけるもの

問 議会報告会開催にあたり、事前の広報活動のどの程度したのか。

答（島副議長） 市の広報やホームページなどで行った。

問 議会報告会の参加人数が少ないのでは。また、商業施設の撤退や交通アクセスの問題など、田原のまちづくりを真剣に考えていただきたい。

答（長畑議員） 今回、3回目の議会報告会で、その都度、反省をしながら試行錯誤している。新たな形も含め、会派代表者会議等で協議しながら、しっかりと検討していく。

答（岸田議員） 市民の方からいただいたアンケートの反映や回覧板などでお知らせしていくなど、努力していく。また、まちづくりについては、コミバスが市民の声で走るようになった。市民の人が声を上げていただき、議会も市民の声を取り上げ、ともに考えていきたい。

答（瓜生議員） 大阪府下では先進的な事であるが、参加人数を増やすことについては、試行錯誤しながら行っている。まちづくりについては、近商の撤退や小学校の問題など厳しいご意見をいただき、私たちも反省をしながら、皆さまとともに取り組んでいきたい。

答（渡辺議員） 自分の市政報告会では人の繋がりや口コミで集まっていたいただいており、議会報告会もネットワークを活用して人を集めるのも一つの方法だと考える。また、市民の皆さまが市議会や市政に関心を持っていただく必要もあると考え、今後は他市の事例等も研究して人を増やしていく。

答（森本議員） 初めての報告会は人が多かったが、2回目から少なくなり、1回目の時に市民の心をキャッチできなかったのは事実である。その反省にたって、皆さんに興味を持っていただけるものをつくっていきたいと考えている。

要 望

- ①ホームページ等を見ることができない人もてるので、もっと違う形で細かい広報活動を行ってほしい。
- ②西部地区の議員の方にも、田原地区へ関心を持っていただきたい。